

十日町市立十日町中学校

丘辺に建てる学び舎

学校ホームページ 二次元コード→



令和7年

2月28日号

Tel

757-2306

一月往ぬる、二月逃げる、三月去る

校長 山本平生

2月の上旬から続いた寒波大雪もようやく一段落し、ここ数日は春を感じさせる気候になってきました。

1年生は、2月中旬に、分じろう裏の広場に2体の雪像を作り、十日町雪まつりに参加しました。以前は、生徒玄関脇に雪像を作っていましたが、「分じろう裏の広場に十中生の雪像を」とお声掛けいただき、今回実現したものです。



今まで以上に、市民の皆様の目に留まる場所で雪像づくりに参加できて、とてもよい活動になりました。

2年生は、3月に出発する修学旅行に向けて、準備に余念がありません。大阪、京都方面に2泊3日で行かれます。班ごとに分かれて京都のまちをめぐる予定です。何を見て、何を感じてきてくれるか今から期待も膨らみます。充実した修学旅行になることを祈ります。

そして、3年生はいよいよ、県立高校の受検、卒業式とラストスパートの時期となり、引き締まった表情で学校生活を送っています。これまでは、卒業式後に県立高校入試でしたが、今年から県立高校入試の後に卒業式を行います。高校入試へのチャレンジを終えて、晴れ晴れとした顔で凛とした卒業証書授与式を迎えられるように、準備を整えていきます。

「一月往ぬる、二月逃げる、三月去る」と言います。年を越して1月はあっという間に行ってしまう。2月は逃げるように過ぎ去っていく。そして3月もあっという間に去ってしまうという意味ですが、その通り、気がつけばもう3月を迎えることになります。

この1年間で、生徒一人一人はどのように成長したのでしょうか。なかなか、学習に集中できなかった生徒が、自分の進路をはっきりとイメージしたことで、毎日努力を積み重ねていると聞きます。友人関係に悩んでいた生徒が、ちょっとした意見の食い違いに対しても上手に折り合いをつけて、にこやかに過ごしていると聞きます。一人一人が確実に人間として成長した姿を見せてくれています。

自分で自分の成長を自覚するのは、実はなかなか難しいものです。「お、私は今成長しているぞ。」などと感じながら生活することはあまりありません。折々に、自分の在り方を振り返ってみた時に「まえに比べたら、少しは成長したのかな。」と感じるのが大方ではないでしょうか。

成長を自覚するには、振り返りや他者からの価値づけが必要です。「あなた、前だったらできないとあきらめていたのに、今回はよくがんばったね。」「そういうことを考えられるようになったということは、大人になった証拠だよ。」と声を掛けてあげることが有効だということです。

間もなく令和6年度が終わります。自分を振り返り、お互いに成長を価値づけ合う、そんな3月にしてほしいと願います。忙しい年度末ですが、保護者の皆様からも、お家で1年間の成長について話題にしていただければ幸いです。それが、一人一人の生徒の生きる自信につながります。

令和6年度 教育活動アンケート結果

7月と12月に実施した教育活動アンケートの結果を以下にまとめました。この結果を基に、3月の学校運営協議会でご意見をいただき、次年度の教育活動の更なる充実や改善につなげてまいります。なお、数値は肯定的回答の割合を示しています。また、矢印は中間評価との差が5%以上の増減、下線部は7割を下回ったことを示しています。

【生徒アンケート】

【知：確かな学力】自ら学び、考えを深める生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	授業に進んで取り組むことができた。	91.3%	92.9%
2	家庭学習に進んで取り組むことができた。	75.7%	75.7%
3	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金)週平均1日当たりどれくらいの時間勉強しますか？ A:1時間30分以上 B:1時間以上、1時間30分より少ない C:30分以上1時間未満 D:30分より少ない	C以上 83.3% A:18.9% B:26.8% C:37.6% D:16.7%	C以上 83.3% A:18.9% B:26.8% C:37.6% D:16.7%
4	授業では、一人で言う学習に積極的に取り組むことができた。	82.8%	85.6%
5	一人で取り組む学習を通して学びを深めることができた。	81.7%↓	88.9%
6	授業では、協議の学習に積極的に取り組むことができた。	87.7%	90.1%
7	協働の学習を通して学びを深めることができた。	92.3%	90.8%

【徳：豊かな心】自信をもって生き生きと生活する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	将来の夢や目標を持っている。	65.3%	65.3%
2	自分には良いところがある。	61.9%	61.9%
3	人の役に立つと感じているところがある。	54.5%	54.4%
4	学校では楽しく過ごしている。	93.5%	93.5%
5	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	99.4%	99.4%
6	道徳や人権に関する授業や活動を通して、人の大切さについて考えた。	98.9%	98.9%
7	学校・地域で、明るく挨拶をした。	88.2%	88.3%
8	ルールやきまりを守り、爽やかな生活を送ろうと心掛けた。	96.4%↑	86.9%
9	机やロッカー等の整理整頓を心掛けた。	81.1%	81.1%
10	相手の気持ちを考え、思いやりのある行動をした。	93.3%	93.2%
11	生活アンケートや教育相談で話したことに対して、先生方は親身になって対応してくれた。	95.0%	95.0%

【体：健やかな体】洗利とした生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	心身ともに健康的な生活を心掛けている。	87.0%	87.1%
2	学校行事や生徒会活動・部活動において精一杯努力した。	91.9%	91.8%

【保護者アンケート】

【知：確かな学力】自ら学び、考えを深め、粘り強く追求する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	家庭学習強調週間(定期テスト期間)に学習を促すような声掛けをした。	75.3%	79.9%
2	子どもは、授業の宿題や学年課題または学習塾で勉強するなど、学習に取り組む姿が見られる。	74.3%	72.9%

【徳：豊かな心】自信をもって生き生きと生活する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	家庭内において、互いに挨拶するように呼び掛けた。	88.4%	91.6%
2	家庭内において、規則正しい生活をするように呼び掛けた。	91.1%	90.3%
3	家庭内において、身の回りの整理整頓をするように呼び掛けた。	87.4%	83.7%
4	家庭で子どもに家事などの役割がある。	55.9%	51.1%
5	学校にスクールカウンセラーや相談員といった相談窓口があることを知っている。	97.8%	97.4%
6	いじめ防止対策基本法の「いじめ」の定義（内容は省略）を知っている。	93.4%↑	86.1%
7	新潟県いじめ等の対策に関する条例の「いじめ類似行為」の定義（内容は省略）を知っている。	86.1%	82.6%

【体：健やかな体】洗刺とした生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	子どもが心身ともに健康的な生活を送ることができるように、保護者として声掛けや支援をした。	92.9%	95.7%
2	子どもは、心身ともに健康的な生活を送っていた。	89.0%	87.5%
3	子どもは、学校の諸活動(学習や部活動等)を通して、心身を鍛え、たくましくなった。	82.6%↓	88.6%

成果・課題・改善策について（職員学校評価ブロック部会より）

○【知：確かな学力】について

生徒の授業での学習意欲は高い。特に、「協働の学習を通して学びを深めることができた」の項目が全学年で90%を超えた。その一方で、日々の家庭学習の計画を立てることができない生徒が多い。そのため、学年部と各教科部が連携をして、生徒の学習習慣が定着するような課題を提示するようにしていく。また、家庭学習の取組方や内容について、各学年や各教科で折に触れて教職員が様々な方法を紹介していきたい。

○【徳：豊かな心】について

生徒アンケートの11項目中8項目は8割を超えている。特に、「学校では楽しく過ごしている。」が年間を通して93%と高かった。その一方で、「将来の夢や目標をもっている。」「自分には良いところがある。」が69%以下と低かった。しかし、今年度の各行事への取組の様子や振り返りの記述などの生徒の実態からは、目標をもってそれぞれの活動に取り組んでいたり、互いに認め合っていたりする姿が多く見られた。そのため、アンケートを行う際に、具体的な例を紹介したり、生徒にとって分かりやすいアンケートの文言へ修正したりしていきたい。また、ソーシャルスキルや学級レクなど生徒のつながりを深め、生徒が主体的に活動できる内容を実践していきたい。

○【体 健やかな体】について

生徒の実態を見ると生活リズムを気にして生活が送れている（11時以降まで起きている生徒は一部である）。部活動にも熱心に取り組んでいる。講演会の感想は、引き続き学年だよりに掲載し、生徒の学習の成果を紹介していきたい。保護者の皆さんからの励ましや支援も、来年度も続けていただけるとありがたい。

生徒は、以前よりも身近な大人がスマホを使用していたり、幼少期からメディアが身近に当たり前のようにあったりする環境にいる。それらの影響もあり、一部の生徒に生活リズムの乱れ（夜更かし、ゲーム、SNS等）が見られることが課題である。

そのため、健康の保持増進に向けて、生徒会と連携していきたい（保健体育委員会の換気チェックや給食委員会の残食チェックなど）。また、学年だより、各種配布物、廊下の掲示物を用いて、学級担任から短学活や学年集会等での指導を実施していきたい。さらに、廊下の掲示物（保健室前、理科室前等）を充実させたり、身近な素材を授業に取り入れたりもしていきたい（7月の清涼飲料水の砂糖量の掲示物から実際に作ってみる理科実験など）。

2年心肺蘇生法技術講習会

7日（金）、新潟 PUSH の高橋様をお招きして、5限に2年2組、6限に2年1組が心肺蘇生法技術講習会を行いました。

心肺蘇生について、胸骨圧迫と AED の使用で救命率が4倍上がることや、胸骨圧迫の方法、AED の使い方などを教えていただきました。それを受けて、実際に用具を使いながら胸部圧迫と AED の操作を行ってみました。最後にペアで実際の場面にあわせながら、心肺蘇生法の流れも体験しました。

高橋様からは、『胸を PUSH、AED のボタンを PUSH、あなた自身を PUSH』することが大切。完璧でなくてもいいので、勇気をもって救命処置を行ってほしい』とお話をいただきました。

これから、もしもの場面に遭遇したら、今回の経験、高橋様の言葉を思い出して対応できればと思います。



1年雪像づくり

13日（木）、14日（金）の5・6時間目に1年生が雪像づくりに取り組み、「十日町雪まつり」に出品しました。今年度の雪像づくりは、会場を例年の学校から分じろう裏の「雪の広場」に移して行いました。

雪像づくりに向けては、冬休みの課題で1年生全員がデザインを作成し、その中から各学級で1つに絞りました。当日は雪像づくりに学級で力を合わせて取り組み、すてきな作品を完成させることができました。

今回、雪像づくりにあたっては、事前学習の講師や会場の確保、雪山の積み上げ作業等、多くの地域の方からサポートしていただきました。ありがとうございました。

これからも十中生で地域の活動を盛り上げていきたいと思っています。

同窓会入会式

27日（木）、同窓会長の蕪木様をお招きして、同窓会入会式を行いました。

蕪木様のご講話では、同窓会会則をご説明いただいた後、「中学校のときの絆は強い。今いる仲間は一生涯の宝。大事にしてほしい」「魔法の言葉『ありがとう』『感謝します』を大切にしてほしい』とお話をいただきました。

その後、卒業生を代表し、同窓会幹事代表が「十日町中学校を支え、発展に協力をしていく所存です」と、同窓会の一員としての決意を堂々と述べました。

そして、最後に蕪木様から卒業生に記念品（卒業証書フォルダ）を授与していただきました。

3年生には十日町中学校の卒業生として誇りをもって、それぞれの進路を歩んで行ってほしいと思います。



活躍する十中生



【クロスカントリースキー部】

第 62 回全国中学校スキー大会

男子 5 km フリー 41 位 小林勇之介 56 位 阿部壮一郎

第 54 回市民スキー選手権大会

中学男子 5 km クラシカル 3 位 小林勇之介

中学男子 チームスプリント 2 位 小林勇之介・阿部壮一郎

【新年小中学生文芸】

書初め 準特選 2年 池田 瑚都

